

私は8日間夏休みをとってサンフランシスコとハワイに行ってきました。自腹で仕事のない初めての海外旅行でした。いつも仕事をかかえて海外へいくと時差ボケで体調を崩し、悲惨でしたが今回始めて海外旅行の楽しさを知りました。

いつも海外旅行の後には感想を書きたくなります。アメリカで気付いた2、3の点を書いてみます。

1：サンフランシスコのデパートで買い物をしたのですが、店員が少なく制服を着ていないため誰にお金を払えばよいのなかなか分からない状態でした。その間若い女性の万引きが紙袋に衣類を隠していたりするのを見て、よくこれで商売が成り立つものだな、と思いました。又、ホテルでは室内金庫が正常に使えず4人のセキュリティの人が1時間おき位に時々直しにやって来ては帰っていき結局完全に使えるようになるのに半日かかりました。

これで気付くことはアメリカの組織は多数のタイル（人や役職）で構成されますが、各タイルは近傍のタイルに（遊びをもって）ゆるゆるに（革ひもかなにかで）縛られていて、各タイルは近傍とのインタフェースだけを守って仕事をする組織のような気がします。各タイルはかなり独立していて分散制御のような。

これに対し日本の組織は各タイルを1歩の隙もなく接着剤でつなぎ合わせたような感じです。

結果は、日本の組織の方が目的に対して最適化されているため効率よく働くと思います。万引きは最小に制御され客の満足度も高いでしょう。ホテル金庫だって1人で10分もあれば直せるでしょう。

日本方式の問題は環境が急激に変わった時対応できないことです。現在の政治、経済はその良い例でしょう。組織が完全に壊れないと新しくなれないということです。また、組織の無駄や遊びに新しいビジネスチャンスが生まれるのだと思います。

2：英語のヒヤリングではいつも苦労しますが、日本人がヒヤリングが悪い原因の一つを発見しました。それは幼児期英語を習わずに、中学で急に大人の文を習うからだと思います。幼稚園や小学生低学年程度の簡単なオウム返しの会話を（外人と）小学生の時に訓練すればヒヤリングだけでなく作文等にも役に立つような気がします。簡単なQ&Aをセサミストリートあたりから集めてトレーニングCDを作って売り出したらどうかしら？

その他気付いたこと

3：アメリカの車がみな日本車のようになり、特徴のある車が少なくなった。

4：アメリカのニュースはグローバルで、（アメリカの行動が世界に即影響するためでしょうが）外国の話しが非常に多い。日本は少しニュースの話題がローカルすぎる。

ニュースの中では日本の銀行話しが何度か出てきて、15年前に比べ、日本が大きな存在になっている感じがします。

5：サンフランシスコの可愛い家が15年前に比べいたんでいるような気がする。

6：ハワイの旅行者の6割は日本人でその8割は女性。

7：エルセリートへいく

の次の出口を出てサンパブロを横切るともうエルムストリート。こんなに近かったかな？とう感じ。家は鶯色に塗り替えられていたため、すぐにわ

まず、そのままピーターパンへ向かう。カストロ公園に沿って山を登ると行き止まり。少し下がって左（だったと思う）に行くと簡単に分かった。

んなに積極的に学校へ入るとはびっくり。まだ、学校は始まってないようす（9月1日）。そのあと家の周りを散歩。隣の犬がほえる。家からも犬が顔を出したそうなので多分アメリカ人が住人。

り古い本質的記憶らしい。においは多分ユーカーリのもの。

以上、アメリカ報告。

---

最近、”小さいことにくよくよするな！”（サンマーク出版）を読みました。傑作です。まだ、読まれてなかったら絶対おすすめです。

また、癒し音楽respirar(TOCP50222)というCDも疲れていたら良く効きます。

大洋ホエールズ快調ですね。大洋が勝つと何度もスポーツニュースを見てもいいです。横浜スタジアムの券はもう手に入らないでしょうから、東京ドームの大洋戦でも買ってみようかと思っています。